

7 月 19 日、日本の海上自衛隊練習艦隊「かしま」と「しまかぜ」がパナマ運河を通峡し、19 日から 21 日の間、ロッドマン港に寄港しました。66 年の歴史を持ち今回で 34 回目を数える海上自衛隊練習艦隊のパナマ訪問においては、福島大使も同乗したパナマ運河の通航訓練に加えて、パナマ航空海上保安庁との防衛交流や、パナマ各層関係者および一般市民との親善交流ならびに日本文化紹介などがおこなわれ、日パナマ関係の更なる強化に大きく寄与する訪問となりました。



19 日、福島大使は「かしま」に乗艦し、パナマ運河を通峡し、海上自衛隊実習幹部に対する講話を行いました。



20日、航空海上保安隊による入港歓迎行事が行われ、海上自衛隊からは音楽隊の演奏、太鼓、日本武道の発表により返礼しました。







その後、ガルシア・パナマ県知事に対する栄誉礼が行われました。



また、パナマ日本人学校生徒等に対する「かしま」艦内特別公開が行われました。



さらに、リッグス治安省事務局長、キエル航空海上保安庁研修所長、カルレス外務省儀典局長等をお迎えし、艦上昼食会をおこないました。



また、小牟田司令官は航空海上保安隊カルデナス事務局長に表敬訪問を行いました。



同日、アルブルックモールでは、海上自衛隊練習艦隊音楽隊による演奏会が行われました。

